

# 社会福祉施設等(学童保育所等)における 新型インフルエンザ・集団発生調査(クラスターサーベイランス)の流れ

## 目的

社会福祉施設等(学童保育所等)での新型インフルエンザ(A/H1N1)の発生を早期に探知するとともに、重症化するおそれがある者への感染を防止すること。

### 社会福祉施設等の施設長等

社会福祉施設等(学童保育所等)の施設長等は、入所者、利用者、職員等において、インフルエンザ様症状者の発生後7日以内に、10名以上が次の条件を満たす場合は保健所に連絡する。(注1)

インフルエンザ様症状を有する者は、医師(嘱託医や主治医等)が診察し、簡易迅速検査の結果、A型陽性・B型陰性である、または、A型陰性でも臨床的に感染を強く疑われること。(注2)

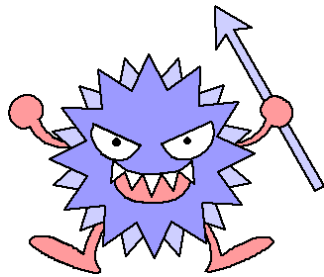
#### 38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状

- ① ただし、年齢・基礎疾患・服薬状況などの影響で、高熱を呈さない場合もあるため、37.5℃以上で考慮してもよい。
- ② 急性呼吸器症状とは少なくとも以下の1つ以上の症状を呈した場合をいう。
  - i) 鼻汁もしくは鼻閉
  - ii) 咽頭痛
  - iii) 咳

(注1) 保健所に連絡後、同様の事態が生じた場合、随時保健所に連絡すること。

(注2) 簡易迅速検査で、B型が確定された場合は除く。

迅速な連絡



### 保健所

保健所は、社会福祉施設等(学童保育所等)の施設長等から連絡を受けた場合、当該施設等における感染状況等を把握するため、迅速に以下の対策を講じる。

社会福祉施設等(学童保育所等)の施設者等に対し施設内におけるインフルエンザ様症状を呈する者の数や感染状況等を把握するように依頼する。



保健所は、施設等における感染状況を把握した上で、地域におけるインフルエンザの流行状況や施設等に属する者の状況等を総合的に勘案し、必要に応じ、以下の対策を講じる。

- ① 臨時休業の陽性を検討(施設長等からの相談への対応を含む)
- ② インフルエンザ様症状を呈する者に対する外出自粛の要請等
- ③ 施設等に対する基本的な感染防止対策の徹底の呼びかけの依頼

迅速な対応

重症化するおそれが高い者が集団発生する施設等において、集団発生しているおそれがある旨の連絡を受けた場合、迅速に以下の対応を講じるものとする。

- ① 早期受診を勧奨するとともに、医師の判断により、PCR検査を実施
- ② 施設内の濃厚接触者に対する予防投与の検討
- ③ 施設の職員等でインフルエンザ様症状を呈する者または濃厚接触者に対する外出自粛の要請



### 社会福祉施設等(学童保育所等)の施設長等